



春ニンジン

販売開発部営農振興課
営農指導員 松本 有希子

農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural-work technical diary



半促成ナス

第一集出荷センター
営農指導員 川島 俊一



振り返り

本年度の半促成ナスは、暖冬の影響もあり、12月中旬に定植したものに關しては例年よりも前進化傾向となりました。しかしながら、2〜3月の天候が不安定であったこともあり、その後の生育は遅れ気味で進みませんでした。5月以降は、天候不順によるヤケ果、ボケ果の発生や、微量要素欠乏症状がみられ、管理には気を使うシーズンとなりました。



アザミウマの防除

ナスで発生する害虫の中で問題となるものの一つにアザミウマ(写真①)があります。アザミウマ防除の一つとして、第一集出荷センター管内の圃場では、おおむね半分程度が天敵を導入しています。



天敵導入によるアザミウマの防除

第一集出荷センター管内で使用される主な天敵は「スワルスキー」です。昨年、スワルスキーよりも低温の13℃でも働く「リモニカ」が販売され、現在は導入の試験を行っているところです。試験では、リモニカはスワルスキーよりも捕食できる範囲が広く、スワル



春ニンジンの栽培方法

春ニンジンの栽培方法は、ハウス栽培と露地トンネル栽培が中心です。トンネル栽培では、播種後、ビニールまたはポリで被覆して保温に努めます。気温の上昇に伴い、適宜、換気をしていきます。



換気方法

1月中旬播きでは、2月下旬から徐々に換気を開始します。目安は、トンネル内の温度が30度を超えないようにします(外気温が15度を超える時は特に注意)。ただし、トンネル内の温度が上がつてから、急に外気を入れると葉ヤケを起こします。特に、発芽から子葉が展開するまでは、高温障害を受けやすいので、注意してください。

また、2月下旬以降の播種の場合も、急に温度が上がる予報の際は、発芽前でも数メートルに1個程度の換気穴を開けてください。時期別の換気方法は表①を参考にしてください。

換気方法は以下の2通りあります(表①参照)。

●穴開け換気

(写真②、穴は直径8センチを推奨)
外気が直接ニンジンに当たらず管理しやすいのですが、穴を開けた後は、強

スキーと同等か、それ以上という成績を残しましたが、「コストがかかる」「増殖するまでに時間がかかった」「高温時に数がやや減るようである」など、導入に向けての課題も見つかりました。

天敵導入時の注意点として、導入後2〜3週間は薬剤散布を行えないため、導入時には病害虫を極力減らしておくこと、粘着板などを設置して飛び込みしてくる害虫の密度を上げないこと、影響のある農薬は使用しないこと、などが挙げられます。

導入後は、病害虫の発生状況を常に確認する必要があります。6月以降になると、天敵だけでは害虫を抑えきれなくなることもあるため、化学的防除へと切り替える必要があります(切り替えは状況によって変わるため、常に天敵や害虫の数を把握する必要があります)。



化学農薬使用時の注意点

天敵を使わなくても、省力化のため蜂を利用しているハウスがほとんどです。天敵を使用するときほど農薬の制限はありませんが、影響日数に気を付けて防除を行います。また、作物が大きくなつてからの防除は難しくなるため、小さいうちから予防のため定期



トンネルの除去

4月中旬ごろにトンネル被覆を除去しますが、除去する5日前位から換気を強めて、茎葉を堅くし、風が強くない曇天の日に除去しましょう。



病害虫防除

昨年度は、収穫後半のニンジンの肩周りに虫害がみられました(写真③)。虫害を防ぐため、トンネル除去後、殺虫剤を散布します。収穫が遅いものにはもう一度散布してください。ニンジンには葉が混んでしまつと薬剤の効果が落ちるので、早めの散布をおすすめします(表②)。

表① 春ニンジンの換気の目安(1月中旬播きの場合)

時期	2月下旬	3月上旬	3月中旬	3月下旬	4月上旬	4月中旬
葉数	1枚	3枚	5枚	8枚	10枚	
トンネル内の最高気温	30~35℃	25~30℃	25℃以下		20℃以下	
開孔率	0.1%	0.2%	0.5%	1%	3%	5%
穴開け換気の間隔	1個/180cm	1個/90cm	2個/90cm	4個/90cm	12個/90cm	21個/90cm
すそ換気	—	片すそを4m間隔で4~5cm	両すそを4m間隔で4~5cm	両すそを4m間隔で9cm	すそ換気と穴換気を併用	
備考	風下側					

※新品のビニールはヤケやすいので、早めに・少しずつ換気始める。
※畑に高低差があると高いところに熱気がたまるので、高いところから換気始める。

表② ニンジンに登録のある主な薬剤

薬剤名	対象病害虫	希釈倍率	収穫前日数	使用回数
カスミンボルドー	黒葉枯病	1000倍	14日前まで	5回以内
ベルグート水和剤	黒葉枯病	500倍	14日前まで	5回以内
アフーム乳剤	マメハモグリバエ	2000倍	前日まで	3回以内
フェニックス顆粒水和剤	ヨトウムシ	2000倍	前日まで	2回以内



写真② ニンジンの穴開け換気



写真③ 虫によるニンジンの食害



写真① アザミウマによる食害



ダニ類の防除について

近年、天敵の普及により、農薬の使用回数が減つたため、ハダニ類の被害が増えています。一度、拡がってしまったら完全に防除することは難しく、その後の生育に大きく影響するため、早めの発見、防除を心掛けてください。



病気の防除について

天敵の導入により薬剤の回数が減っています。定期的な防除を行い、病気の発生予防に努めましょう。

8月の分析経過について

残留農薬分析点数…合計0点(8月は実施なし)

土壌診断点数 …… 合計46点